

2026年6月24日

株式会社ガスパル

猛暑に備え、社員の熱中症対策を強化 ～ファン付きウェア導入拡大や研修実施など、安全確保に向けた取組みを推進～

LPガスを中核に保安最優先でエネルギー事業を展開するガスパルグループは、近年の高温傾向を踏まえ、社員の安全確保を目的とした熱中症対策を強化しています。これまで熱中症警戒アラートの活用や社内研修の実施に加え、自社施工員へのファン付きウェア貸与に取り組んできましたが、2026年6月より、屋外で業務に従事する社員約670名へ対象を拡大します。充てん・配送業務に従事する社員には防爆仕様のファン付きウェアを採用するなど、現場環境に応じた対策の強化を図ります。事業者に求められる安全配慮の重要性が一層高まる中、今後も社員の安全を最優先に、労働環境の整備に継続的に取り組んでいきます。

■ファン付きウェアの導入拡大について

2026年6月より、屋外で業務に従事する社員約670名を対象にファン付きウェアを貸与します。これまで2019年から自社施工員を対象に貸与してきましたが、今回対象範囲を拡大します。特に、LPガスの充てん・配送業務に従事する社員には、防爆性能を備えたファン付きウェアを採用し、安全性に配慮しています。これにより、作業時の体温上昇の抑制と負荷軽減を図り、熱中症リスクの低減につなげます。



■熱中症警戒アラートの利用促進について

環境省および気象庁が発表する「熱中症警戒アラート」を活用し、管理職に対しては登録を義務化しています。暑さ指数*を把握し、業務調整や注意喚起を徹底するとともに、朝礼時に体調確認を実施、熱中症予防に努めています。

*暑さ指数…気温・湿度・輻射熱などをもとに算出される、熱中症リスクの指標

■熱中症予防に関する社内研修について

社員を対象とした熱中症予防に関する研修を定期的にも実施しています。研修では、熱中症の基礎知識に加え、発症時の初期対応や緊急時の対応手順について理解を深める内容としています。万が一の際にも適切な対応が取れる体制づくりを進めています。

Gaspalは、「人の生きる」と共に歩むエネルギー企業へ